

アル・アクサ洪水第750日目：アブ・ハムザが抵抗の武器について語る中、国際司法裁判所が判決を下す

Palestine Chronicle, 2025年10月23日



54人の身元不明のパレスチナ人が、デイル・アル・バラフの南にある集団墓地に埋葬された。(Photo: via QNN)

主要事項

* 10月22日、国際司法裁判所は、イスラエルは、国際人道法に基づき、ガザ回廊の住民の生存に絶対必要な「基本的ニーズ」を満たす義務があるとの判決を下した。

* アル・クッズ旅団の新しい報道官アブ・ハムザは、イスラエルによって殺害された前任者を追悼し、イスラエルに対する武装抵抗の継続を誓い、この「絶滅戦争」に対してパレスチナ各派の結束した抵抗を改めて呼びかけた。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者68,234人、負傷者170,373人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月24日 12:49am

* イェディオト・アハロノト：ネタニヤフ政府は米政府に対し、パレスチナ国を承認した国をガザ安定化部隊に加えることに反対すると伝えた。

* AP通信：イスラエル議会が西岸地区にイスラエル主権を確立するという仮決定をしたことに対し、トランプ大統領は、イスラエルは「順調に事を進めており、西岸地区に関して何もしないだろう」と言った。

* パレスチナ・メディア：情報筋によると、イスラエル軍は西岸地区トゥルカレム市にあるヌール・シャムス難民キャンプの上空に照明弾を発射した。

*ロイター通信：入手文書によると、米国は「ガザ人道財団」に代わるガザ支援計画を検討している。

10月23日 9:33pm

*パレスチナ・クロニクル：国連人口基金（UNFPA）の幹部によれば、ガザの新生児の約70%が早産の低出生体重児、妊娠の3分の1が危険を伴うと見られている。

10月23日 9:28pm

*パレスチナ・クロニクル：今日、イスラエルの極右のベザレル・スモトリッチ大臣は、パレスチナ国承認をしているサウジアラビアとの国交正常化を拒否し、サウジアラビアの名誉を傷つける発言をして、怒りを引き起こした。

10月23日 9:15pm

*イスラエル・メディア：イスラエル軍のエヤル・ザミール参謀総長はJ.D. ヴァンス米副大統領に、トランプ大統領計画の第二段階への移行は、「イスラエル人人質遺体の全員返還の前には不可能」と言った。また、軍部情報筋はヴァンス米副大統領に、ハマスは停戦期間を利用して勢力回復を図っていると言った。

*ロイター通信：ロイター通信が入手した文書によると、米国は「ガザ人道支援基金」に代わる新たなガザ支援枠組みを検討している。

*CENTCOM: 米中央軍（CENTCOM）はエルサレム・ポスト紙に対し、イスラエルに新設した調整センターは「ガザが持続的安定へ向かううえで極めて重要」だと述べた。さらに、多くの国がガザ安定化に向けた取り組みへの参加を表明していると述べ、「ガザ調整センターは軍事同盟よりはるか広範なもの」と言い、「2年間の紛争からの脱却は容易ではない」と強調した。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相はヴァンス米副大統領に対し、西岸地区併合に関するクネセトの票決は「予備的審議にすぎず、何の結果をも生まないだろう」と言った。しかし、ヴァンスは、「私がイスラエルにいる間に投票を行うべきではなかった」と反論した。

10月23日 8:23p

*パレスチナ・クロニクル：トランプ大統領は、ネタニヤフ首相のガザ・ジェノサイドを止めたのは私だと言った。私が止めていなければ「何年も続いていたかもしれない」と述べた。

10月23日 8:19pm

*南アフリカ政府：南ア政府は、イスラエルはパレスチナにおいて占領国としての国際法に規定する義務を果たすべきだという国際司法裁判所の判決を歓迎した。南ア政府は、判決によって、「人道支援活動を支援する義務がイスラエルにあることが法的に明白になった」という声明を出した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イスラエル占領軍がハーン・ユーニス南東で大規模な爆破を行った。爆破は集中的砲撃と戦車砲撃と同時に行われた。

*レバノン・メディア：レバノン議会のヒズボラ議員イブラヒム・ムサウィは、イスラエルのレバノン内陸部への攻撃強化は、国連安保理決議1701号の「露骨な違反の継続」であると言った。これらの違反のために、「決議合意の保証人、つまり安保理諸国がイスラエルの侵攻に対抗する責任を果たす」べきであると言った。

*アル・ジャジーラ：情報筋がアル・ジャジーラに語ったところによると、カイロで、ハリル・アル・ハヤが率いるハマス代表团とフセイン・アッシェイフとマジード・ファラジが率いるファタハ代表团が会合を持った。会合では、パレスチナの政治情勢とガザの戦後処理が話し合われた。

10月23日 7:06pm

*パレスチナ・クロニクル：ユーロ地中海人権モニターによると、2023年10月からイスラエルがガザ回廊への軍事攻撃を始めて以降、ガザ回廊人口約12%になる27万人以上のパレスチナ人が殺害、負傷、身柄拘束されたという驚くべきデータが明らかになった。

10月23日 6:24pm

*ニュースのまとめ

・41のNGO団体が援助封鎖を非難；ガザで活動する41の団体は、イスラエルが人道支援の自由な流入を認めるように求める声明を出した。彼らは、イスラエルが、水、食料、テント、医療物資など救命支援物のガザ流入を「恣意的に拒否し続けている」と主張している。

・WHO；WHO事務局長は、ガザでは「健康被害が何世代にもわたって続くだろう」と言った。彼は、援助活動への制限を指摘し、イスラエルに対してこれまで登録すら拒否していた援助団体のガザ入域を認めるように強く要望した。

・WFP；ガザの食料システムは破壊されており、住民の基本的ニーズに応えようとする活動も制限されている。

・脆い停戦への期待；中東の国連和平プロセス担当副調整官は、ガザ停戦合意を、包括的合意に向けて構築しなければならない「非常に脆い希望」だと形容した。彼は、ガザの破壊があまりにも大きすぎると言って、強固な援助調整メカニズムの構築を求めた。

・死傷者；ガザ保健省は、2023年10月7日以降の犠牲者数は、死亡68,280人、負傷170,375人と報告した。

・リーベルマン；イスラエル・ベイテイスラエル党のアヴィグドール・リーベルマン党首は、「パレスチナ国の樹立は認めない」と宣言した。

・アラブ・イスラム諸国；アラブ・イスラム諸国は声明を出し、国際司法裁判所がイスラエルの義務について判決を下したことを歓迎し、イスラエル議会が西岸地区にイスラエル主権を確立する予備法案を可決したことを非難した。

・ネタニヤフ首相府、野党批難；首相府は、ヴァンス副大統領訪問中にクネセトが西岸地区併合採決をしたのは、「分裂の種を撒く野党の意図的挑発行為」だと述べた。

・ネタニヤフ首相、法案審議停止命令；ハアレツによると、首相は西岸地区とマアレ・アドゥミムに主権を確立する法案を「審議するな」と指示した。

・トランプ大統領；トランプは「ガザ戦争は終結した」と述べ、ネタニヤフは合意を受け入れるべきだと、タイムズ紙の取材で言った。

・マルワン・バルグーチに関するトランプ発言；トランプ大統領は、イスラエルがマルワン・バルグーチを釈放して戦後のガザを統治させる可能性について決定を下すかもしれないと言ったが、ハマスは武装解除しなければならないと強調した。

・西岸地区併合とトランプ；トランプ大統領は、イスラエルが西岸地区を併合すれば、「米国の支持をすべて失う」と警告し、そのようなことはさせないとアラブ諸国に約束したと述べた。

・カタール攻撃非難；トランプ大統領はネタニヤフ首相がカタール攻撃したのは「重大な戦術的ミス」で、あまりにも奇妙な攻撃だったので、誰もがやらなければならないことをやったと言った¹。

・ベン・グヴィル、バルグーチ釈放拒否；イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相は、マルワン・バルグーチに関する発言を批判し、「イスラエルは主権国家で、マルワン・バルグーチは殺人犯で、彼が釈放されることもガザを統治することもないだろう」と言った。

・ナブルス地域襲撃；イスラエル軍はナブルスの南の町ベイタを襲撃、村人との衝突が発生した。また、サルフィットの西の町デイル・バルットでは、不法入植者がパレスチナ人農民のオリーブ収穫を妨害した。

10月23日 4:12 pm

*パレスチナ・クロニクル：ヴァンス副大統領は、イスラエルの西岸地区併合案を「愚かな政治的戦略」と非難し、米国はイスラエルの一方的行動に反対で、改めてガザ停戦へのコミットを表明した。

10月23日 4:07 pm

*パレスチナ・クロニクル：アイマン・アブ・サレハは、ラマッラー北のトゥルムシアヤでオリーブ収穫作業をしていたところを入植者に襲われ、命からがら生き延びたと語った。[ファヤ・シャラーシのラマッラーからの報告](#)を読みたい。

訳注1：ネタニヤフに電話でカタール首相に謝罪させた。

*タイム誌：トランプ大統領は、「イスラエルが西岸地区を併合すれば、米国の支持をすべて失う」と警告し、「私はアラブ諸国に西岸地区併合はないと約束した」ので、併合は実現させないと言った。また、彼は、ネタニヤフ首相は「戦闘を続ける態勢にあり、戦争が何年間も続く可能性があったが、私が彼を止めた」と言った。

10月23日 4:06 pm

*ガザ保健省：2023年10月7日以降のイスラエルの攻撃の犠牲者は、死者68,280人、負傷者170,375人となった。

*ハマス声明：ハマスは、国際メディア団体と国際人権団体に、外国人記者がガザに入る許可を与えるようにイスラエルに圧力をかけるよう呼びかけた。ハマスは、イスラエルが国際報道機関のガザ・アクセスを阻止してきたのは、「自らの犯罪を隠蔽したいからだ」と言った。

*イスラエル・メディア：イスラエルのギデオン・サール外相は、「イスラエルは、困難があるにもかかわらず、トランプ計画の成功に向けて努力していると言った。

10月23日 2:55 pm

*ヴァンス米副大統領：イスラエルは西岸地区を併合しない。イスラエルとハマスはともにトランプ大統領のガザ停戦計画を尊重しており、「一部の例外はあるけれど、合意は健在である」と言った。彼は、米軍がガザに派遣されることはないが、米国は停戦の継続を確保する責任があると言った。「イスラエル政府は合意を遵守しており、米国は引き続きイスラエルと協力し、イスラエルの安定を維持する」と述べ、米国のイスラエルへのメッセージは停戦維持の必要性だと強く言った。

10月23日 1:44 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザの灰の中から新たな物語が生まれた。それは、イスラエルと米国の圧倒的な軍事力と虐殺暴力と勇敢に戦い、敢然と立ち向かってきた人々の物語である。[レザ・ベナムの小論](#)を読みたい。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は、ラマッラーの西の町ニリンのパレスチナ人男性を、ワディ・アル・アインを襲撃し、彼の車両を調べた後、逮捕した。地元情報によると、イスラエル兵は音響手榴弾と催涙ガス弾を使い、住宅や商店を襲い、通行中のパレスチナ人を止めて携帯電話の中身を調べた。

*パレスチナ・メディア：パレスチナ囚人に対する人権侵害が激化しているので、パレスチナ囚人関係団体は、イスラエル刑務所への訪問をすぐに始めることを、赤十字国際委員会に要請した。

10月23日 1:36 pm

*パレスチナ・クロニクル：停戦中にもかかわらずイスラエルはデイル・アル・バラフ市東部を攻撃した。WHOは大戦後初めて患者の外国病院への移送を行った。

10月23日 1:18 pm

*イスラエル・メディア：国際司法裁判所がイスラエル政府にUNRWAのガザの救助活動を許可するように命じたにもかかわらず、イスラエルはUNRWAのガザでの活動を認める意志がない。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、ガザ回廊南部のバニ・スハイラへのイスラエル軍のドローン攻撃で、パレスチナ人1人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：ガザ戦争は1日3,500トン以上の廃棄物を作り出した。そのため数百か所の不法ゴミ捨て場が誕生し、健康と環境を害している。そう言うゴミ捨て場のそばで暮らさざるを得なくなった数世帯の苦闘を、アル・ジャジーラが記事にしたことがある。疫病と感染で人道危機に陥っている悲惨な状態である。

10月23日 12:04 pm

*ニュースのまとめ

・EU、入植者のオリーブ収穫攻撃を非難；パレスチナ駐在のEU代表は、西岸地区でのオリーブを収穫するパレスチナ人農民への入植者の攻撃の激化に懸念を表明した。EUは不法入植者の暴力行為を強く非難し、パレスチナ人農民の畑へのアクセスを否定することは決して正当化できる行為ではないと言った。EU代表は、持続可能な和平達成には、現地での違反行為への対処と人権と国際法尊重を確立することが必要と力説した。

・オリーブ収穫攻撃件数は158回；分離壁・入植地抵抗委員会は、収穫シーズン開始後、オリーブ収穫者への攻撃は158回あったと報告した。

・WHO、重症患者の国外移送：WHO のテドロス・アダノム・ゲブレイエス事務局長は、重症患者41人と付き添い145人を外国で治療を受けさせるために移送すると発表した。これは停戦後初めての医療措置で、まだ他に約15,000人の患者がガザの外で治療を受ける承認を待っている。

・新たな援助物資コンボイがガザへ向かう；数千トンの食料と医薬物資を積んだトラックのコンボイがエジプトからガザ回廊へ出発した。これは国連関連の物資だが、イスラエルが課す検査・審査を受けることになる。

・ガザ市長；ガザ市長はガザ回廊に広がる瓦礫の山の撤去に必要な機材の提供を要請した。

10月23日 11:50am

*ハマス声明：ハマスは、イスラエルのイタマル・ベン・グヴィル国家安全保障相によるパレスチナ囚人への組織的な虐待と処刑するぞという脅迫を、「イスラエル占領者のファシズム的行動」と非難した。ハマスは国際社会に対して、イスラエルの「ナチ的占領」とその犯罪を明らかにし、指導者を適正な国際裁判で裁くことを求めた。この声明は、過激派ベン・グヴィル大臣がノツァヴォット刑務所に乗り込んで、パレスチナ囚人に向かって恐ろしい脅迫演説を行い、彼らを死刑執行せよと求めた有様を撮影したショッキングな動画が流れたことを受けて、発表された。ハマス運動は、国際社会に、イスラエルによるパレスチナ囚人に対する暴力の停止、囚人の釈放、そして加害者の処罰逃れの阻止を、強く求めた。

10月23日 10:27am

*WHO：世界保健機関 (WHO)事務局長は、ガザ状況を、飢餓、医療システムの崩壊、疫病の蔓延で、破局的であるとのべた。

*UNRWA :国連パレスチナ難民共済事業機関 (UNRWA) は、ガザは6100万トン以上の瓦礫で覆われ、居住地区が完全に消滅していると言った。また、UNRWA の救援活動は依然として出来ない状態で、避難民たちは瓦礫の中で水や寝場所を探していると述べた。

*イスラエル・メディア：イスラエル最高裁は、エルサレムで外国人記者協会が提出した特派員のガザ入域を求める請願を審理している。イスラエルは、2023年10月7日以降、破壊し包囲したガザへの外国人記者の単独入域を禁止している。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊の子どもたち、とりわけ新生児と乳児は、依然として栄養失調と医療物資の不足のために苦しんでいる。人道支援物資と医療機器の流入はガザの緊急必要量をはるかに下回ったままである。

*イスラエル・メディア：イスラエル・ペイティヌ党のアヴィグドル・リーベルマンは、トランプ大統領はイスラエルにとって「親友」だが、イスラエルは「ノー」と言って自国利益を守らなければならないと言った。

*アル・ジャジーラ：停戦合意以降イスラエルから引き渡された捕虜の遺体165体のうち、身元が確認されたのは50体だけである。これは、遺体の顔や身体が切断されたり、拷問で歪んでいるために、確認が困難になっているためだと、人権団体が指摘している。

*ユーロ地中海人権モニター：ユーロ地中海人権モニターは、2023年10月7日以降殺害、負傷、恣意的拘束されたパレスチナ人の数は27万人以上になるという第一次統計を発表した。この数字はガザ回廊の人口の10%にあたる。この報告は、イスラエルの2年間にわたる攻撃がもたらした途方もなく大きな破壊、強制避難、食料と医療システムの破壊、精神的損傷を強調している。

*ロイター通信：マルコ・ルビオ米務長官は、西岸地区を併合しようとするイスラエル議会（クネセト）の動きは、ガザ和平合意を危うくすると警告した。また、彼は、中東以外の国々もガザ国際安定化部隊形成に貢献する準備をしていると言った。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は西岸地区のヘブロン、ナブルス、トゥバなどいくつかの市を夜襲した。

*トルコ・メディア：トルコの副大統領は、イスラエル議会による西岸地区併合決定を非難し、それは脆弱なガザ停戦合意を潰し、地域の安定に対する明白な脅威となる「破壊行為」だと言った。

*アルバネーゼ国連特別報告者：被占領地パレスチナにおける人道問題に関する国連特別報告者のフランチェスカ・アルバネーゼは、ガザ停戦では、「米国とイスラエルによるジェノサイドを前にして不十分である」と言った。彼女は、正しい

やり方は、単なる停戦ではなく、占領、パレスチナ資源の搾取、入植植民地主義を止めることであると主張した。彼女は、これは戦争ではなく、民族の抹殺を目指したジェノサイドだと言った。

10月23日 1:03am

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍は占領地エルサレムの町ヒズマの出入り口を封鎖し、ラマッラー北にある村ウナム・サファへ侵攻し、数軒の住宅を破壊した。

*カン：ネタニヤフ首相府はベザレル・スモトリッチ財務大臣に、米政府が占領地西岸地区にイスラエル主権を樹立することに反対しているというメッセージを伝えた。ネタニヤフの妻は、イサク・ヘルツォグ大統領に夫のネタニヤフの裁判に関し、大統領恩赦を与えることを要請する文書に署名せよと、リクード党閣僚に呼びかけた。

*アル・ジャジーラ：ガザ停戦が発効してから、ガザ市民防衛団はイスラエルの2年間の爆撃で瓦礫に埋もれたパレスチナ人の遺体を回収しようとしてきたが、作業に必要な器具と重機の不足のために、作業がはかどらない。市民防衛団のイブラヒム・アブ・リッシュ団長はアル・ジャジーラに対し、「世界はイスラエル人質20人の遺体の回収には全力を尽くして協力したのに、約10,000人のパレスチナ人犠牲者は瓦礫の下に放置し、掘り起こしに必要な機材も提供しない」と語った。

10月22日 11:23pm

*チャンネル13：イスラエルの治安当局は、ガザ停戦と戦争終結合意の第二段階へ進むことを政治指導部に勧告した。

*アル・ジャジーラ：ユニセフの報道官はアル・ジャジーラに対して、ユニセフの現地チームがガザの「大規模破壊」を報告、「ガザの環境は子どもにとって非常に危険だ」と言っていると述べた。

*パレスチナ赤三日月社：西岸地区ナブルスでイスラエル軍の銃撃でパレスチナ人1人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：ハマス幹部のイスマイル・リドワンはアル・ジャジーラに対して、ハマスは停戦合意の成功を確実にするように努めているのに、イスラエルはその義務を逃げてしていると述べた。彼は、「今ガザに入ってくる支援物資は大海の一滴にすぎない。また、まだ瓦礫の下敷きになっている行方不明者は1万人以上いる」と語った。彼はイスラエルが遺体回収に必要な重機の搬入を妨害していると述べ、仲介者と米政府に、イスラエルに合意の履行を迫る圧力をかけてくれと求めた。

10月22日 8:17pm

*パレスチナ・クロニクル：今日、国際司法裁判所は、イスラエルは、国際人道法に基づき、ガザ回廊の住民の生存に絶対必要な「基本的ニーズ」を満たす義務があるとの判決を下した。

10月22日 8:06pm

*パレスチナ・クロニクル：アル・クッズ旅団の新しい報道官アブ・ハムザは、イスラエルのよって殺害された前任者を追悼し、イスラエルに対する武装抵抗の継続を誓い、この「絶滅戦争」に対してパレスチナ各派の結束した抵抗を改めて呼びかけた。

10月22日 2:51pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ政府は、イスラエルから返還されたパレスチナ人囚人の遺体を埋葬した。遺体の多くは拷問や処刑の跡があり、ガザ政府はこれらの国際法と人道法の違反行為に関する国際調査を求めた。